

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年12月27日
タイトル	「くわい」の収穫をして調理実習をしたよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成28年11月24日（木）福山市立新涯小学校5年生が、新涯小学校の近くのほ場で「くわい」の収穫見学をしましたので、その様子を取材しました。

新涯小学校5年生は、一年を通じて、地域の特産物である「くわい」についての学習に取り組んでおられ、その一環として新涯町にある水土里ネット福山組合員の種本守雄さんのほ場で「くわい」の収穫見学をしました。

新涯小学校からほ場の近くの公園に集まりました。ここで、水土里ネット福山理事の枝廣義春さんよりくわい収穫について、水の中に入って水圧で掘って収穫するため寒くて力があることなどを聞き、実際の収穫を見るためほ場まで移動しました。



ほ場に着くと、種本さんが子ども達に見やすいように道路側を収穫しておられました。みんなで大きな声で挨拶をし収穫しているところを見学します。事前に種本さんが用意してくださった実がついたままのくわいを見て、くわいがどの部分にできるのか確認できました。水中ポンプの威力を見せるため、種本さんが水中ポンプの先を空に向けると消防車の放水のように勢いよく水柱が上がり、子ども達から一斉に歓声があがりました。



収穫したくわいを観察する子ども達、その中にくわいのお尻のところから白い汁がにじみ出ているものがありました。「これは乳といってお母さんの母乳のように出てくるんじゃ。栄養が高い証拠で成分はデンプンじゃ。」と教えていただき、じっと見ていました。収穫したばかりの新鮮なくわいだから見る事ができたのでしょう。

収穫の見学を終え公園に戻り、子どもを代表して「聞いたり調べたりして収穫の仕方は知っていたけど、本当に収穫しているところを見せていただきすぎいなと思いました。」とお礼の言葉を述べて全員で大きな声でお礼を言いました。

くわい収穫の見学をし、また校庭のくわいを収穫した子ども達は、自分達で栽培したくわいを使って調理実習をしました。学校で収穫したくわいは大きくて形もよく色もきれいな青色です。収穫した子どもに感想を聞くと「とても冷たかったけど沢山収穫できてうれしかった。」と話してくれました。

昨年「K1グランプリ」としていろんな料理を作った中で「くわい饅頭」を更に工夫することになり、「くわいの大学芋風」「くわい団子(くわいあん)」「くわい団子(きなこ)」の3種類を作ることになりました。6チームに分かれ、2チームずつ3種類を調理しました。



「くわいの大学芋風」は、くわいを切って水気を切り油で揚げフライパンで大学芋の素とからめます。くわいの切り方をスライスと4分の1に切るようにチームで決めて切りました。特にスライスするチームは最初包丁の使い方が見えて怖かったのですが、徐々に慣れて沢山のくわいを上手に切っていました。油で揚げるのは先生の担当です。全部揚がったらフライパンに入れ大学芋の素とからめますが、量が分からず少しずつ加え水を少し入れると飴色になりました。子ども達には大人気の一品でした。

「くわい団子(くわいあん)」は、小さいくわいを先ず茹でてフードプロセッサで細かくし鍋に同量の砂糖と水を少し加えて火にかけ粘りが出るまで焦げないように混ぜくわいあんを作ります。白玉粉に適量の水を加えてよく混ぜ団子の生地を作り中にあんを入れた団子を作り茹でます。あん作りでは、味見をしながらお砂糖を加え焦げないように混ぜるのは力がある大変な作業で「いつゴールがくるんだろう。」と言いながら混ぜていました。出来上がったくわいあんはとてもおいしかったです。あんを入れた団子を丁寧につくり茹でたら水気をきり、きな粉をまぶして出来上がりです。団子のもちもちした中から甘くて後味にほろ苦さが残るくわいあんができておいしかったです。

「くわい団子(きなこ)」は、茹でたくわいをフードプロセッサで細かくし、白玉粉と水を混ぜてこねて丸め茹でて水気をきりきな粉をまぶして作ります。白玉粉を入れて混ぜる時水の分量が難しかったようです。大きな玉に丸めるチームと小さな玉に丸めるチームに分かれました。出来上がりはどちらもきれいでしたがあまり大きいときな粉の味がしない部分がおかずっぽく感じるので小さい方がおいしかったです。予想していた以上に食感がふわふわしていておいしかったです。今年もみごとなくわい創作料理となりました。



3種類の料理をみんなで分けて、自分達のチームが作った料理と他のチームが作った料理をいただきました。子ども達は、自分達の調理したくわい料理に満足したようで「おいしかったね」と言いながら後片付けもテキパキとしていました。最後に大きな声でお礼を言ってもらい取材を終えました。

水土里ネット福山では、21世紀土地改良区創造運動を通じ子ども達と水土里ネット福山の組合員や地域住民との交流を図り、農業の大切さやふるさとの誇りを発信してまいります。